

科目名 (Eng)		法学概論 (Introduction to Law)							
担当教員		木原 淳							
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	一般科目 (工学系4科)	4	前期	選択	1	30	一般	B	
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応: (A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5), (C-1), (F-1). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 1), 3), 6) JABEE基準1 (i) との対応: (a), (b), (f), (h)							
授業の概要と方針		私法を中心とする現代日本法の基礎を解説する。							
到達目標		①ビジネスと関わりの深い法領域についての基礎知識を習得する。 ②ルールにしたがって問題解決を図る思考を理解する。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
前期	1	導入	法の社会的機能 法律学の特徴				配布プリントの記入と見直し		
	2	法の概念 (1)	社会規範としての法						
	3	法の概念 (2)	法と慣習 法と強制						
	4	法の概念 (3)	法と道徳						
	5	法の概念 (4)	法の目的としての正義						
	6	裁判制度と法の実現 (1)	近代市民法の体系 公法と私法						
	7	裁判制度と法の実現 (2)	裁判の構造と原則						
	8	裁判制度と法の実現 (3)	法曹制度						
	9	自然人と法人	権利能力と行為能力 法人の区分						
	10	会社制度の概要	会社の意義と区分						
	11	株式会社の組織	株主の権利と株式会社の構造						
	12	株式の役割と機能	株式の機能						
	13	不法行為制度	一般的不法行為と特殊的不法行為						
	14	製造物責任制度	過失責任から欠陥責任へ						
	15	まとめ	私法を通じての正義の実現				試験見直し		
試験について		期末試験 (50分) を実施する。 但し、再試験の受験は、定められた期限内に課題を提出した者のみに認める。							
評価方法		定期試験の成績を60%、課題を40%として評価する。							
教科書		配布プリント、『コンサイス判例六法』							
参考書		五十嵐清『私法入門』 (有斐閣)							
関連科目		人文社会科学概論 A 及び B、経済学、技術者倫理							
履修上の注意		条文の背景となる政治・経済・社会的背景を理解すること。							